

板橋区の産学官連携により開発中の紫外線照射ロボットで 新型コロナウイルスの除去効果を確認

【内容】

板橋区内に本拠を置く株式会社ファームロイド（住所：東京都板橋区舟渡3-22-4 MIC第二ビル2F）と日本大学医学部附属板橋病院（住所：東京都板橋区大谷口上町 30-1）は、紫外線照射ロボットによる新型コロナウイルス除去の実証実験を行い、その効果を確認した。今後さらなる実証実験を続けていく。板橋区では医工連携の取組を含め、区内企業や大学等との連携・マッチングによる課題解決を推進している。

実証実験では、新型コロナウイルスに対して、株式会社ファームロイドが開発した紫外線照射ロボットによる紫外線照射実験を行い、新型コロナウイルスが減少したことを確認した。

先日、米国製の紫外線照射ロボットが新型コロナウイルスに効果があったことが発表されたばかりで、日本でも国産の紫外線照射ロボットによる新型コロナウイルスへの除去効果が実証された。日本大学生産工学部の協力も得て、より高度な殺菌能力を持ったロボットの開発を目指している。

紫外線照射ロボット「UVBuster™」を開発した同社は「農作物ウイルスへの紫外線殺菌の研究から現在に至った。開発したロボットの特殊な深紫外線照射によって新型コロナウイルスに効果があったことは何よりの励みになる。このロボットは遠隔地からのWEBコントロール機能によって、自宅PCから病院内のロボット操作ができるので、紫外線照射しない時は院内巡回や患者応対も可能だ。まずは医療施設用として開発、今後は商業施設や宿泊施設などさまざまな用途での実証実験を行う予定だ。」と述べている。同社は、板橋区立ものづくり研究開発連携センター（区が区内企業の研究開発やものづくり企業活性化を支援する施設）において研究開発を行っている。

実証のサポートは、板橋区と連携に関する基本協定を締結し、がんサポート講座や、乳がん・子宮がん患者支援等の事業連携を行っている日本大学医学部が行った。同学部は、多数の新型コロナウイルス感染者を受け入れている日大板橋病院での豊富な経験を活かして、今後も新型コロナウイルスの感染拡大防止や医療崩壊を防ぐためにあらゆる先端技術を導入しながら地域に住んでいる方々に高度な医療を提供していく方針。

板橋区は、明治時代に陸軍板橋火薬製造所（後の東京第二陸軍造兵廠板橋工場）、戦後に理化学研究所板橋分所が所在するなど、産業、特に光学関連産業が盛んな地域であり、産学官の連携で、これからも区内に拠点を構える高度なものづくり技術を有する中小企業・ベンチャーの医療分野への新規参入や医療機関との連携・共同事業を促進し、医療現場のニーズに応えるだけでなく、中小企業等の技術向上を支えていく。

■実証実験に関するお問い合わせ：日本大学医学部附属板橋病院 担当：病院庶務課 TEL 03-3972-8111

■UVBuster™に関するお問い合わせ：株式会社ファームロイド info@farmroid.com

【区の産業振興全般について】板橋区産業振興課長 担当：木内 TEL 03-3579-2170

【区の大学連携について】板橋区ブランド戦略担当課長 小熊 TEL 03-3579-2047

■発信者